

そらとつちとみどりの会話

NōSAI かがわ

ノーサイ

2026
夏号
vol.71



激動の時代に農業保険で安心を 第14回通常総代会を開催



全8議案を承認

第14回通常総代会を令和8年6月4日、組合本所会議室Ⅱ高松市三名町Ⅱで開催しました。総代101人の中から、議長に東かがわ市の永峰正之総代が選出され議事に入りました。提出した7年度事業報告や8年度事業計画など、全8議案が慎重に審議され、すべて原案どおり承認されました。



議長を務める永峰正之総代

- 総代総数…101人
- 当日出席
総代数……98人
本人出席…58人
書面議決書
での出席 ……40人
- 欠席総代数…3人

備えの普及で活力ある地域へ



組合長理事 近藤 賢司

組合員の皆さまには、事業運営に対してご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、農業生産現場では、国際情勢の変化で燃料や肥料、飼料などの価格上昇が続いています。加えて、石油由来製品の供給不安定化による影響も始めています。

さらに、昨年度も大雨や暴風、極端な高温といった気象災害が多発し、県内各地で農作物や果樹のほか、園芸施設に被害が発生しました。農業経営を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しています。

このような中、農業保険制度は、政府の「食料・農業・農村基本計画」において、農業経営の安定化

に向けた有効手段として普及推進と加入拡大が強調されています。

農業経営の安定なくして、地域経済の活力はありません。組合は常に農業生産現場の声に耳を傾け、農業保険が農業者の基幹的セーフティネットとしての役割を果たせるよう、制度内容の丁寧な説明を続けるとともに、迅速な損害評価と共済金の早期支払い体制を整備し、被災農家への即応支援を強化します。

収入保険制度では、既加入者のフォローを図りながら、ターゲット層を絞った加入推進と関係機関や農業生産者団体との連携・協力体制を強化し、引き続き総力を挙げた普及拡大に取り組みます。

今後も香川県の農業発展と組合員の支えとなるべく、組合一丸となつて努力してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

来賓



香川県農政水産部農政課
小塚武司課長



中国四国農政局香川県拠点
高梨暁人地方参事官

総代会は、組合員の代表として選出された総代が、理事から提出された議案を審議し、組合運営の方針を決める最高議決機関です。

提出議案

第1号 議案

令和7年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（不足金処理）案について（4ページに関連記事）

第2号 議案

令和8年度事業計画及び業務収支予算書（案）について（4ページに関連記事）

第3号 議案

令和8年度事務費等賦課額、賦課方法及び徴収方法について
事務費賦課金総額／4億6354万円
賦課方法及び徴収方法／
共済目的別に、共済掛金と同時に徴収する

第4号 議案

役員、損害評価委員会等の報酬及び損害評価員、共済部長手当について
合計／5995万7000円以内

第5号 議案

借入金最高限度額等について
借入金額／10億円以内
借入先／農林漁業信用基金、香川県農業協同組合、百十四銀行

第6号 議案

余裕金の預入先金融機関について
香川県農業協同組合、香川県信用農業協同組合連合会など4金融機関

第7号 議案

事業規程の一部改正について
家畜共済（死亡廃用共済）における共済目的の対象範囲の見直し

第8号 議案

損害評価委員会及び家畜診療所運営委員の選任について
損害評価委員会委員11人、家畜診療所運営委員2人を選任

附帯決議

決議事項中軽微なる事項の修正等の委任について





6月4日、総代会の席
場で、令和7年度に事業
推進で功績のあった共済
部長や、農業保険制度の
普及に貢献された基礎組
織員などを表彰しました。
受賞者は次のとおり。
(敬称略)

任意共済事業推進
功績者表彰

蓮井雄二(中讃)
田岡一道(中讃)
須川美津子(三豊)
星賀雅敏(三豊)
森脇良隆(三豊)

農機具共済の部

大池晴夫(東部)
眞部茂弘(高松)
三木秀毅(高松)



任意共済事業推進功績者表彰を受賞する
三木一弘さん

杉下佳久(中讃)
谷川初義(中讃)
西口啓吾(中讃)
大野茂樹(三豊)
中邦彦(三豊)

第一号 基礎組織員
(勤続期間20年以上)

岸本哲彦(東部)
富田久夫(東部)
上北剛夫(高松)
熊野寛美(高松)
山本利弥(高松)
久保孝夫(高松)
吉田一彦(高松)
小田耕司(中讃)
小川吉蔵(中讃)
荒川弘樹(中讃)
四川弘樹(中讃)
角岡智三(三豊)



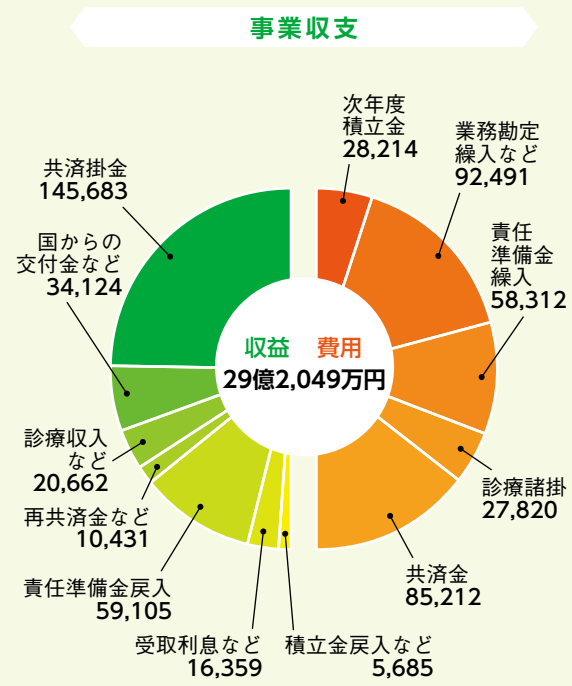
功績者表彰を受賞する
上北剛さん

第二号 基礎組織員
(勤続期間10年以上)

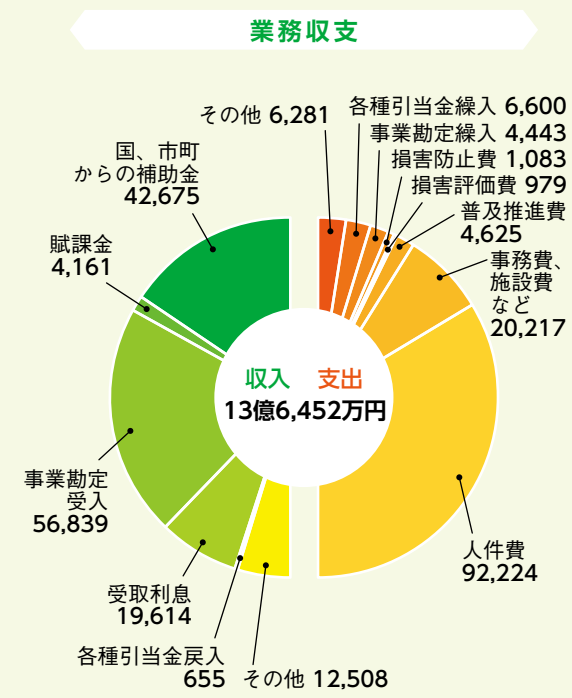
筒井美恵子(高松)
末包浩基(中讃)
小松稔也(中讃)
入谷正明(三豊)
岡田龍宗(三豊)
大西毅彦(三豊)
平野俊一(三豊)

令和7年度 農業共済事業功績者表彰

令和7年度 事業収支と業務収支 (単位：万円)



事業収支とは、
農業共済事業に関連する収支です。



業務収支とは、
組合の運営に関する収支です。

令和7年度事業実績と8年度事業計画

水稻共済	麦共済	家畜共済	果樹共済
			
7年度実績	7年度実績	7年度実績	7年度実績
引受面積 636,266㌥	引受面積 67,514㌥	引受頭数 77,629頭	引受面積 9,445㌥
共済金額 48億8,897万円	共済金額 1億9,889万円	共済金額 142億6,029万円	共済金額 4億2,338万円
支払共済金 2,013万円	支払共済金 659万円	支払共済金 3億8,619万円	支払共済金 1,312万円
8年度計画	8年度計画	8年度計画	8年度計画
引受面積 625,000㌥	引受面積 72,000㌥	引受頭数 77,120頭	引受面積 8,750㌥
共済金額 53億4,510万円	共済金額 2億2,101万円	共済金額 141億9,071万円	共済金額 4億1,721万円

畑作物共済	園芸施設共済	建物共済	農機具共済
			
7年度実績	7年度実績	7年度実績	7年度実績
引受面積 401㌥	引受棟数 4,015棟	引受棟数 82,192棟	引受台数 19,912台
共済金額 211万円	共済金額 96億6,322万円	共済金額 1兆181億2,686万円	共済金額 511億6,193万円
支払共済金 10万円	支払共済金 1,760万円	支払共済金 2億5,165万円	支払共済金 1億5,669万円
8年度計画	8年度計画	8年度計画	8年度計画
引受面積 300㌥	引受棟数 3,933棟	引受棟数 80,512棟	引受台数 19,912台
共済金額 158万円	共済金額 94億7,013万円	共済金額 9,964億2,081万円	共済金額 511億6,193万円

合計	7年度実績	共済金額	支払共済金	8年度計画	共済金額
		1兆987億2,565万円	8億5,212万円		1兆772億2,848万円

令和7年度の総評

7年度は、制度共済（水稻、麦、家畜、果樹、畑作物、園芸施設）事業で3.8億円、任意共済（建物・農機具）事業で22億円ほど引受共済金額目標を下回り、目標達成率は97.8%でした。組合員にお支払いした共済金の総額は、ほぼ前年度並みです。

収入保険

収入保険は、令和7年度に県内1,219経営体（前年度比97.8%）が加入しています。

令和6年県内加入者への支払い 令和8年4月末時点

260経営体、4億2,727万円

8年度引受計画 1,236経営体

被害申告 忘れずに

令和8年産水稲の損害評価を、収穫期に合わせて実施します。被害を受けた場合は、収穫前に被害申告をお願いします。

水稲共済には全相殺方式、地域インデックス方式、半相殺方式があります。すべての方式で、農業者ごとに一定割合の被害があった場合に、共済金をお支払いしています。

今年は多くの方に、地域インデックス方式に移行していただいています。地域インデックス方式は、市町単位の統計単収による収穫量が補償割合を下回った場合に共済金をお支払いする方式です。

いずれの方式も、耕地ごとの稲の作柄を見て、平年の収穫量より減収すると思われるときは、損害通知書を提出期日（別途案内）までに提出してください。また、耕地ごとの局地的な被害は、下記の特例・特約で対応できる場合があります。

対象となる災害

風水害、干害、雨害湿潤害、冷害など気象上の原因での災害や鳥害、獣害、病害、虫害、火災での被害が対象になります。薬害など人為的な災害は対象外です。また、収穫後の被害も、共済責任期間外に発生した損害として、共済金はお支払いできません。

立札はよく見えるところに

立札は現地調査の前日までに、風で飛んだり雨で字が消えたりしないようビニールなどで覆い、収穫が終わるまでよく見えるところに立てておいてください。※確認済のピンクの札は廃止しています。

連絡先

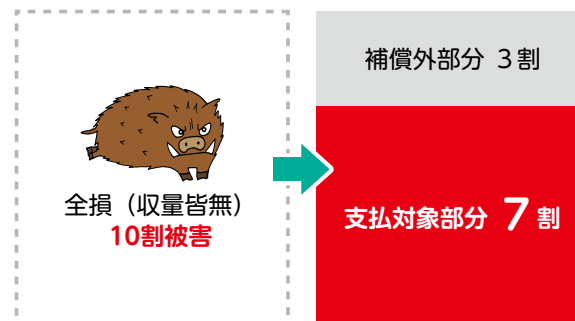
東部支所 ☎0879-43-4121
高松支所 ☎087-888-1146
小豆出張所 ☎0879-62-0694
中讃支所 ☎0877-35-7735
三豊支所 ☎0875-25-2482

局地的な被害は特例・特約で対応

水稲共済の各加入方式は、加入者ごとに共済金を算出します。耕地ごとの局地的な被害をサポートする「特例・特約」があります。

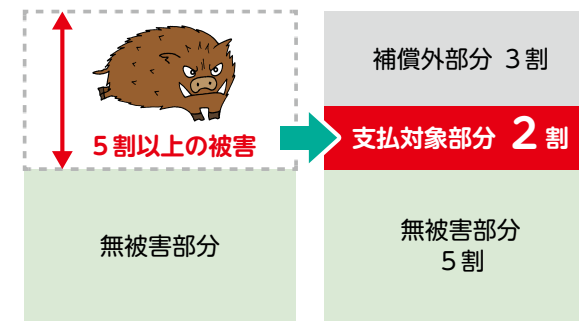
一筆全損特例

収穫皆無（全損）となった耕地がある場合、**7割部分**をお支払いします。



一筆半損特約

半分以上の減収があった耕地がある場合、5割減収とみなし、**2割部分**をお支払いします。



※各方式において、最高補償割合（9割）で加入し、本人の責によらない場合に限りま。

収入保険

経営リスクの備えに

加入手続きの流れ

① 税務書類の準備

個人の場合 確定申告書第一表
青色申告決算書1、2ページ
損益計算書
法人の場合 法人税の申告書別表一、四

② 加入申請書の作成

提出いただいた税務書類と保険期間の営農計画から基準収入金額、保険料などを算定します。

③ 申し込み

補償内容を確認し、加入申込手続きをしていただきます。

④ 保険料の納入

負担軽減のため、最大9回まで分割して納入できます。保険料等の納入は口座振替となります。

⑤ 補償開始

令和9年1月1日から1年間
（法人は事業開始月から1年間）

保険料を試算してみませんか

補償や保険料のシミュレーションは、最寄りの支所までご連絡ください。

NOSAー全国連のホームページでも、保険料のシミュレーションができます。二次元コードからアクセスし、ぜひご利用ください。



加入者の声

将来の安心につながる

高松市伏石町 溝渕 哲也さん 37歳
▽経営「イチゴ「とめぎひめ」10㍗

生育や病虫害の状況が毎年違い、何が起こるか分からないところが、経営の不安要素です。リスクに備え、独立前に研修先で話を聞いていた収入保険に、令和7年に加入しました。

手続きでは、NOSAー職員から複数のプランを提示してもらいました。今は経営に合った補償にしていますが、青色申告の実績を十分重ねてから、最高補償に変える予定です。

ハウスを増設中で面積を拡大するので、将来の安心材料があるのは心強いです。

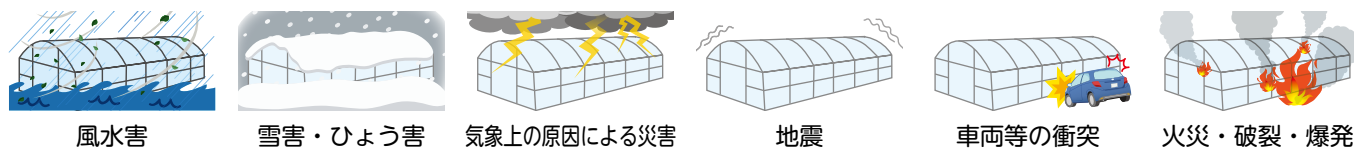


備えでつなぐ未来

園芸施設
共済

台風はもちろん、近年は突風や強風による被害も年間を通して発生しています。予測が難しい自然の脅威に備えることは、安定した農業経営を支える重要な力となります。未来へ農業をつないでいくため、万が一のリスクに備える園芸施設共済への加入をぜひご検討ください。

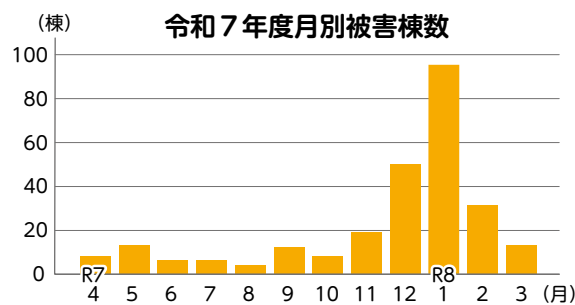
支払い対象となる主な被害（共済事故）



令和7年度 共済金支払い状況

支払棟数：296棟
支払共済金：1,760万円

台風被害は少なかったものの、8年1月に最大瞬間風速22.2m/s（高松地方気象台）の突風が発生し、96棟に被害が出ました。



加入者の声

三豊市山本町
株式会社農業生産法人豊田農園
代表取締役
豊田 衆士さん 48歳



令和3年、台風でパイプ総数の約3分の1が曲がる被害を受けました。設置して1カ月のハウスでした。NOSAⅠ職員の勧めで園芸施設共済に加入しており、共済金を再建費用にできて助かりました。アスパラガスは同じ株から10年以上収穫できるため、施設の維持は必要不可欠です。最近では、気候変動の影響でいつ風が吹くかわからないように感じます。園芸施設共済でも、もしもに備えていきます。

▽経営Ⅱアスパラガス約1・2畝

綾川町
北林 仁美さん 64歳



ハウスを建設した平成31年に園芸施設共済に加入し、何度かお世話になっています。今年の台風6号では、押さえ材を施したパイプの上半分のビニールが横に破れました。町内でも特に風が強い地域で、補修や補強をしてもビニールが破れます。少しでも補償があるのはありがたいです。息子へ経営移譲を予定しているのでも、園芸施設共済も引き継ぎたいと思っています。

▽経営Ⅱアスパラガス13・2畝（ハウス9棟）、水稻21・6畝

生産獣医療

採卵移植スタート

家畜の能力を高める取り組みを強化し、生産性向上や経営改善につなげたいと考えています。



生産獣医療センター
寺田孝一所長

Q 採卵移植とは？

優れた遺伝的特性を持つ母牛の体内から受精卵を採取し、別の牛に移植して子牛を生産することを、採卵移植といいます。

組合では、これまで受精卵の採取は行っていましたが、検卵や凍結処理は外部に依頼していました。今年度から、中讃家畜診療所に専用の施設を設け、受精卵の採取から検卵、凍結処理まで一貫して行います。

Q 一貫することのメリットは？

短時間で新鮮卵移植ができることです。母牛の子宮から取り出された受精卵は、なるべく短時間で子宮へ入れないと、受胎率が下がります。以前は、採卵してから移植まで6時間以上かかったこともあります。組合で一貫して行うことで、移動時間が短縮し新鮮卵移植が行えるため、受胎率の向上が期待できます。

Q 家畜農家さんをお願いしたいことは？

採卵では、なるべく同期化処置を行い、新鮮卵移植を進めたいと考えています。新鮮卵の方が凍結卵に比べて受胎率が高いので、ぜひとも採卵に合わせた新鮮卵移植をお願いします。

※母牛から採取した受精卵の発育日数と、受精卵を移植する牛の発情からの経過日数を合わせる

例えば、夏場の受胎対策として、人工授精より受胎率が比較的高い受精卵移植を積極的に取り入れてはいかがでしょうか。

詳しくは最寄りの家畜診療所へお問い合わせください。



診療所連絡先

中央家畜診療所
☎087-889-0473

東部分室
☎0879-43-4676

小豆分室
☎0879-62-6122

中讃家畜診療所
☎0877-86-5210

三豊家畜診療所
☎0875-25-2927

モモ 収穫後の適正管理で品質安定を

講師：^{かけだい よしひろ}掛鯛 吉洋 香川県農業経営課農業革新支援センター

果樹は年間を通じて管理が必要で、収穫後の管理は翌年の果実品質に影響を与えます。
今回は、収穫終了から落葉までの期間が比較的に長い、モモの収穫後の管理について説明します。



① 収穫後管理の重要性

収穫後から落葉までは、翌年の生育に必要な養分の貯蔵期間で、この時期に花芽の充実が行われます。

さらに、開花から収穫までの期間が短いため、早期落葉は貯蔵養分蓄積を減少させ、翌年の初期生育に大きな影響を与えます。

② 病虫害防除と新梢管理

近年、地球温暖化に伴う異常気象が毎年のように発生しています。この結果、夏の猛暑に加え、秋も気温が下がらず、病虫害の発生が遅くまで続く傾向が見られます。令和8年産防除暦に基づき、収穫後も引き続き防除し、健全な枝

葉を確保しましょう。
また日照不足を改善し、結果枝を確保するため、9月中旬ごろを目安に、樹冠下に木漏れ日がさす程度となるよう徒長枝を間引きします（元部15%程度を残す）。



モモヒメヨコバイの被害葉（吸汁された部分が脱色している）



モモヒメヨコバイの葉裏の成虫、幼虫、脱皮殻



せん孔細菌病の被害葉

③ 土壌管理

土壌が乾燥すると、光合成が停滞し貯蔵養分の蓄積が減少します。乾燥が続く場合は適宜かん水を実施しましょう。

また、異常気象に対する抵抗力を高めるため、計画的な土づくりで有効土層を拡大し、根域の確保に努めましょう。

建物共済

火災共済は落雷も補償

建物共済では、落雷での建物本体や家電製品への被害も補償しています。被害が発生した場合は、ご連絡ください。テレビやエアコンなど、複数の製品が被害を受けている場合がありますので、全ての家電製品の状態を確認してください。

家電製品への被害の補償は、家具類等の加入が必要です。



聞き取り調査と写真撮影をします

農機具共済

事故、買い替え時は連絡を

加入農機具に事故があった場合、

① 事故発生日と場所

② 機種

③ 事故の状況

④ 修理依頼先

を直ちにご連絡ください。農機具を買い替えた場合も、連絡が必要です。

変更手続きができていない農機具が事故にあったときや、修理箇所や罹災部品が確認できない場合、共済金をお支払いできないことがあります。

家畜共済

死亡廃用共済の加入資格拡充

令和8年7月1日より、受精卵移植された胎児の加入資格は、受精卵が体外で発育に要した日数を加えるよう拡充されました。受精卵移植の場合、基本的に移植後23日から共済事故の対象となります（人工授精の場合は授精後240日から）。

異動通知を速やかに

牛を導入・出生・譲渡したときは、独立行政法人家畜改良セン

ターに届けることが牛トレーサビリティ法で義務付けられています。

家畜共済は、牛個体識別台帳（トレサ情報）をもとに、家畜の異動確認や共済金の算出をしています。牛の異動は速やかに独立行政法人家畜改良センターに届けてください。

職員人事

採用 5月1日付

川本明日香（中讃家畜診療所）

退職 4月30日付

松尾直哉（中讃家畜診療所）

組合の主な動き

- 9月 初旬 高齢農業者表敬訪問
- 25日 第3回理事会
第2回余剰金運用管理委員会
- 10月 1日 第3回コンプライアンス委員会
15日～22日 中間監査

※行事日程は変更になる場合があります。

訪問集金は原則禁止

組合では、組合員の皆さまからお預かりする共済掛金などについて、**農林水産省からの指導に基づき現金納入の取り扱いを原則禁止しています。**
現在、皆さまのご協力で掛金納入件数の99・2%が口座振替です。

コンプライアンス（法令等順守）の一環で、共済掛金などの納入また共済金のお支払いは口座取引への変更をお願いいたします。やむを得ず口座を登録できない方は、建物共済と農機具共済に限り、組合から送付する払込票（コンビニエンスストア用）でお支払いができます。



ブロッコリーとナスの栽培を始めたが、ナスの管理や収穫に追われ、メインのブロッコリーの作業時間や、プライベートの時間が圧迫される。7年、品目をニンニクに



「楽しく農業を続けたいです」と秋山さん

ブロッコリー220㍓、ニンニク25㍓を一人で栽培する秋山倫広さんは、「地域の農業者と協力し、品質を落とさないよう心がけています」と話す。県外で生産管理の仕事をしてきたが、やりたかった農業をするため、40歳でUターン。地元の人で1年半ほど野菜栽培の経験を積み、令和3年に独立した。ブロッコリーとナスの栽培を始めたが、ナスの管理や収穫に追われ、メインのブロッコリーの作業時間や、プライベートの時間が圧迫される。7年、品目をニンニクに

自分に合った経営を

観音寺市柞田町 秋山 倫広さん 47歳

変更したところ、時間に余裕ができ、作業計画を立てやすくなった。「作業効率が上がリ、プライベートの時間ができただけでなく、就農当初の売上目標も達成できました」さらに、果樹栽培に挑戦したい意欲も生まれ、ハウス6㍓を建設しシャインマスカットを植え付けた。



「親切に接してくれた先輩方と一緒に仕事をしたいと就農を決意しました」

いきいき農家

つながりを大切に

高松市新田町 刈田 和樹さん 39歳

水稲6畝と小麦8畝を栽培する刈田和樹さんは、「周囲の人たちの支えで農業ができています」と話す。非農家出身で、義父の手伝いから農業に興味を持ち、1年間の修業を経て令和4年に認定新規就農者となった。当初、地域の先輩農業者から栽培方法や経営のアドバイスをもらい、本当に助けられたと振り返る。「病気の対処法や有効な農薬について、経験を踏まえて教えてくれます。おかげで迅速に対応できています」作業の合間に、仲間と病害虫対策や栽培方法を学びあう。「一人では分からないことも、話すことで解決でき、知識も得られます」と話す。現在の目標はさらに規模を拡大し、経営を安定させること。そのためにも、「地域とのつながりを大切に感謝の気持ち忘れず頑張りたい」と



ドローンを点検する刈田さん

意気込む。

ドローン防除で効率化

栽培では、水稲と麦の防除にドローン（小型無人機）を活用する。「病気が広がりやすい時期でも、短時間で効率良く防除できます」と話す。義父を手伝っていたころからスマート農業に関心を持っていた刈田さんは、オペレーターと補助員の2人で作業ができるドローンに着目、令和2年12月に操縦資格を取得した。地図情報をスマートフォンに登録し、ドローンと連携させている。作業時間は、10㍓当たり1分から2分程度だ。また、作業内容はアプリで記録する。

挑戦は始まったばかり

綾川町 須田 夏未さん 29歳



「勉強したことで違うこともあり、不安やプレッシャーも多いが頑張りたい」

須田夏未さんは、建設企業が立ち上げた農業部門「ペンタゴンファーム」（イチゴ、アスパラガスなど1畝栽培）の従業員として、イチゴ栽培を任されている。イチゴが順調に育ち、販売までこぎつけることを当面の目標に掲げ「始めたばかりなので、まずは自分でどれだけできるか試したいです」と意気込む。近所のイチゴ農家の下で1年間修業し、令和8年に就農した。普及センターの学習会や講習会を通じて知り合った先輩農家からアドバイスを受けることもあ

り、農業を通じて人とのつながりの大切さを感じているという。代表の須田達哉さん（37）は「綾川町特産のイチゴをおいしく作り、一緒に町を盛り上げましょう」と話す。同ファームで栽培したイチゴやアスパラガスなどの一部は、系列のカフェや宿泊施設で提供される。将来的には、収穫体験を視野に入れているという。



未来のファーマーズ

三豊市 とうげうら かず き
峠浦 一輝さん 24歳

祖父のブドウ栽培を継ぐと
決め、4月から農業大学校で果
樹全般の栽培管理を学んでいま
す。ブドウ以外の知識や技術も
勉強になります。授業の後や休
日は、摘粒など祖父の作業を
手伝います。

ブドウは、果物の中でも手
かけた成果が特に目に見えると
ころが魅力。今ある「ピオー
ネ」「シャインマスカット」を
きれいに栽培できるよう技術を
身に付け、将来的には新品種の
導入や、ネット販売に挑戦した
いです。

経営移譲に向け、ハウスの増
設や幼木の育成を進めていて、
5年後に収穫できる予定です。

過去の広報紙は
ホームページから
見られます

ホームページ
はこちら▶



表紙の続き 地元の野菜で地域に笑顔を

ネギや水稻など約10品を栽培する赤尾大樹さん（さぬき市寒川町、39歳）は、「いいものを安定して生産し、面積を拡大したい」と話します。令和3年から耕畜連携に取り組み、有機肥料中心の栽培で持続可能な農業を目指しています。年々気温が高くなり、天候の変化に対応した品質管理が課題だとい
います。

撮影：北村写真事務所 北村修一氏



大樹さんから奈央子さんへ
「家庭と弁当屋を両立してくれて助
かります」



奈央子さんから大樹さんへ
「夏バテに気をつけて、おいしいお
米や野菜を作ってください」



3〜4種類の弁当を用意。ライン
ナップはInstagramから



● おべんとう屋 TOCHUU. ●

【住 所】さぬき市寒川町石田西2174
【営 業 日】火・水・金・土曜日
【営業時間】午前11時〜売り切れ次第終了
【問合せ先】080-7853-9809
※予約、取り置きはLINEかInstagramから

Instagram
二次元コード



LINE
二次元コード



読者の声

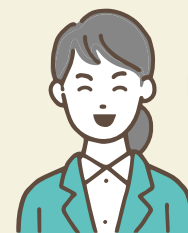
「ロスのない経営を目指して」の川崎さん親子が、育てたイチゴを一粒も無駄にせず頑張っている様子が、目に見えるように伝わってきました。（さぬき市 女性 81歳）

ため池や水路などの維持管理に尽力されている人を、広報紙で紹介してほしいです。（三木町 男性 68歳）

友人からタケノコをもらったので、タケノコとタイの直がつおバター焼きをさっそく作りました。「今回の食材」の内容も、家族に話しました。（坂出市 女性 72歳）

赤松牧場の「堆肥は宝」という言葉は、全くその通り。ロイヤルファームアカマツのジェラートを、ぜひ食べたいです。（丸亀市 男性 77歳）

たくさんの
お便りをいただき、
ありがとうございました！



共済の紹介記事も見ますが、農業を大切に思い、頑張っている人の記事が、一番読んでいて楽しいです。（琴平町 女性 65歳）

毎年、イノシシが田んぼを荒らし困っていましたが、近所の人から農業共済のことを聞き、加入しました。おかげで、防獣ネットの取り付けで補助をいただけ、被害も最小限で済みました。（三豊市 女性 60歳）



「NOSA I かがわ」の写真は、皆さんにこやかで健康そのもの。知り合いがいないか、いつもワクワクしながら探しています。（三豊市 女性 85歳）

家庭菜園をしています。元肥、追肥など、野菜にとっての「あんばい」が難しいです。毎回一年生のつもりで頑張っています。（観音寺市 男性 76歳）

NOSA I クイズ

NOSA I かがわ71号からの問題です。次の質問にお答えください。

Q 水稻共済の各加入方式には、局地的な被害に対応する「一筆〇〇特例」「一筆半損特約」があります。〇に入る言葉をお答えください。

A 一筆〇〇特例 ※ヒントは6ページ

応募の宛先 〒761-8083 高松市三名町東原5番地6
香川県農業共済組合 NOSA I クイズ係
応募締め切り 令和8年9月18日（金）消印有効
当選者発表 令和9年2月発行予定の73号で発表

郵便はがきに、①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名（ふりがな） ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦NOSA I や広報紙への意見、感想、質問 ⑧地震保険に入りやすくなるアイデアはありますか？ などをご記入のうえ、ご応募ください。

※応募によって得られた個人情報は、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。※はがきの料金不足がないようご注意ください。

第69号 当選者発表

答え 》再生二期作

【当選者】「国産手摘み エキストラバージンオリーブオイル」をお届けしました。

高嶋サナエさん（さぬき市）、河西浩二さん（高松市）、三谷真世さん（丸亀市）、白川武志さん（三豊市）

梨とタコのごま酢あえ



料理紹介者

香川県食農アドバイザー
やまなか みき
山中 美妃子さん
ジュヌヴィエーヴ料理教室主宰

ヒトコト★POINT

梨の自然な甘みは辛みとの相性がよく、料理をさわやかに仕上げます。梨とタコとの食感の違いも、食欲を促してくれる一品です。

梨の甘みで
辛みをやわらげる



今回の食材

梨

完熟で収穫する香川県産梨は、甘みが強くシャキシャキ食感。汗とともに流出しがちなカリウムを手軽に補えます。

材料（4人分）

- 梨 …………… 1個
- ゆでタコ …………… 150g
- カイワレ菜 …… 1パック
- 新ショウガ …………… 5g
- ごま酢
 - 〔 白ごま …………… 大さじ2
砂糖 …………… 大さじ2
酢 …………… 大さじ3

梨用の下味

〔 ごま油 …………… 小さじ1

タコ用の下味

〔 ごま油 …………… 小さじ1
コチュジャン … 小さじ1

作り方



梨は薄切り（短冊切り）にし、下味をなじませ冷蔵庫で冷やす。



カイワレ菜は半分に切って水洗い。新ショウガは千切りにし、水にさらす。ザルにあげ冷蔵庫で冷やす。



タコは薄切りにし、下味をなじませる。



ごま酢を合わせ、食べる直前に①②③をあえる。

農業共済新聞

NOSAIの機関紙「農業共済新聞」は週1回の発行で、1年間の購読料は5,520円（1紙当たり約117円）です。2カ月間、無料で「お試し読み」もできます。



発行 香川県農業共済組合

編集 本所総務部総務課

〒761-8083 高松市三名町東原5番地6

TEL:087-888-2121 FAX:087-888-3031

ホームページアドレス

<https://www.nosai-kagawa.jp>



発行日：令和8年8月1日